

V いぐさ

収穫期が近づいた6月以降のいぐさ生育量は、生育期間中で最大となり、晴天の日の蒸散量は12 mm(12 t/10a)以上にもなる。そのため、この時期にいぐさが水分不足となれば生育への影響が大きくなるため、以下の点に注意が必要。

- 1 ほ場が乾燥しないよう湛水状態を維持する。(晴天が続く日は、田面からの蒸発量といぐさの吸水量が大きいためほ場は乾きやすくなるので注意が必要。)
- 2 収穫前の早期落水は、茎の伸長抑制、充実不足や変色茎の発生を助長するので、収穫作業に支障のない限り、刈取り直前までいぐさ田の湛水状態を保つ。